

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

2025年度 第2回理事会 次第

日時：2025年10月29日（水）16時～17時

会場：セラミックパークMINO 展示ホール

< 議 案 >

第4号議案 国際陶磁器フェスティバル美濃'27 会期について

第5号議案 第14回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション
事業計画について

<その他報告事項>

- ・作品募集ポスター等のデザインについて
- ・第13回国際陶磁器展美濃受賞者活動支援事業の実施について

<配布資料>

- ・国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 2025年度 第2回理事会議案
- ・資料1 国際陶磁器フェスティバル美濃'27
第14回国際陶磁器展美濃スケジュール（案）
- ・資料2 第14回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 事業計画（案）
- ・資料3 第14回国際陶磁器展美濃 募集要項（案）
- ・作品募集ポスターデザイン
- ・第13回国際陶磁器展美濃受賞者活動支援事業の実施について

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

2025年度 第2回理事会 議案

2025年10月29日（水）

第4号議案

国際陶磁器フェスティバル美濃'27 会期について

国際陶磁器フェスティバル美濃'27 会期について、次のとおり承認するものとする。

- 1 会 期 2027年10月8日（金）～11月7日（日）
- 2 期 間 31日間

2025年10月29日提出

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会 長 江崎 禎英

第5号議案

第14回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 事業計画について

第14回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 事業計画について、
次のとおり承認するものとする。

2025年10月29日提出

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

会 長 江崎 禎英

国際陶磁器フェスティバル美濃'27
第14回国際陶磁器展美濃 スケジュール (案)

募集期間	2026年2月2日(月)～2027年1月29日(金) (1年間)
1次審査 (画像)	2027年2月
2次審査 (画像)	2027年4月
歓迎セレブション	2027年7月31日
最終審査 (現物)	2027年8月1日～2日
会期	2027年10月8日～11月7日 (31日間)

2027 7月	12345678910111213141516171819202122232425262728293031	自己搬入 国内作品搬入 海外作品搬入	歓迎セレブション
------------	---	--------------------------	----------

2027 8月	12345678910111213141516171819202122232425262728293031	最終審査 記者発表 図録用写真撮影 (5日間)	作品の一時保管 (作品輸送業務受託者) 8/8～9/29 (53日間) ※ 図録作成
------------	---	-------------------------------	--

2027 9月	123456789101112131415161718192021222324252627282930	作品の一時保管 (作品輸送業務受託者) 国際陶磁器展美濃会場設営 9/19～9/29 (11日間)
------------	---	---

2027 10月	123456789101112131415161718192021222324252627282930	作品輸送展示作業 9/30～10/6 (7日間) 内覧会式 (表彰式)	国際陶磁器フェスティバル美濃'27 (第14回国際陶磁器展美濃) 10/8～11/7 (31日間)
-------------	---	---	---

2027 11月	123456789101112131415161718192021222324252627282930	搬出 11/7 (閉会後)～12 (5.5日間) 会場撤去 11/13～20 (8日間)
-------------	---	---

第 14 回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 事業計画（案）

第 14 回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティションは、以下の事業計画に基づき実施する。なお、作品募集に関する詳細は別紙募集要項のとおりとする。

1. テーマ

「やきものの可能性」

既成の概念にとらわれず、自由な発想でやきものが持つ可能性を切り拓く作品を求めます。

2. 作品募集期間

2026 年 2 月 2 日(月)～2027 年 1 月 29 日(金)（1 年間）

3. 募集部門

①陶芸部門

②陶磁器デザイン部門（ファクトリー分野・スタジオ分野）

・ファクトリー分野：実用機能を有するファクトリープロダクト

・スタジオ分野：実用機能を有するスタジオ（個人）プロダクト

4. 応募登録料

応募登録料は無料とする。

5. 応募方法

ホームページからの応募に限る。書面や CD-R による受け付けは行わない。

6. 審査

段 階	時 期	審査方法	目 的	内 容
1次審査	2027年 2月	作品画像審査	入選候補作品を一定程度 絞り込む	審査員が自宅・オフィ ス等でインターネットに 接続されたパソコンに より画像審査を実施
2次審査	2027年 4月		1次審査通過作品の中から、 <u>入選作品を決定(約 200 点)</u>	
最終審査	2027年 8月1日～2日	作品現物審査	入選作品の中から、グランプリ 以下各賞を決定	審査員がセラミックパ ーク MINO に集結し、 現物審査を実施

7. 作品輸送費

最終審査に向けた作品の搬入及び展示会終了後の作品返却に係る輸送費は、すべて応募者の負担とする。

8. 賞及び賞金

賞	賞 金	陶芸部門	陶磁器デザイン部門	
			スタジオ分野	ファクトリー分野
グランプリ(※)	500万円	1作品		
金賞	200万円	1作品		
銀賞	100万円	1作品	1作品	1作品
銅賞	50万円	2作品	1作品	1作品
審査員特別賞	10万円	5作品	5作品	
入選	—	上記を除く160～180作品程度		

(※) グランプリ受賞者は表彰式に招待（交通費・宿泊費は実行委員会が負担）

〈坂崎重雄セラミックス賞〉

このコンペティションでは上記の賞とは別に、若手作家の逸材の輩出を目的に「坂崎重雄セラミックス賞」を2011年第9回から設置しています。

① 対象：応募締切時点で40歳以下の応募者(個人)

② 賞金：各50万円(陶芸部門1作品、陶磁器デザイン部門1作品)

※ この賞金は、多治見陶磁器卸商業協同組合が設置する「坂崎重雄陶磁器産業後継者育成基金」から負担していただいております。

■坂崎重雄(1922～2015)

1986年第1回の開催にあたり、この美濃焼の産地において行われる国際陶磁器コンペティションのPRのため、美濃陶芸協会の方々と世界各国を奔走し、開催実現に導いた功労者。

9. グランプリ及び金賞作品の取扱い

グランプリ及び金賞作品は、岐阜県現代陶芸美術館へ寄贈していただき、同美術館の収蔵作品とする。

10. 全体スケジュール

内 容	期 日
作品募集期間	2026 年 2 月 2 日～2027 年 1 月 29 日
1 次審査	2027 年 2 月
2 次審査	〃 4 月
海外作品搬入	〃 7 月 8 日～12 日
国内作品搬入	〃 7 月 22 日～28 日
審査員歓迎レセプション	〃 7 月 31 日
最終審査	〃 8 月 1 日～2 日
記者発表（審査結果）	〃 8 月 3 日
図録用写真撮影	〃 8 月 3 日～7 日
作品の一時保管	〃 8 月 8 日～9 月 29 日
会場設営	〃 9 月 19 日～9 月 29 日
作品展示作業	〃 9 月 30 日～10 月 6 日

内覧会	// 10 月 7 日
表彰式	// 10 月 7 日又は 8 日（内覧会又は開会式において実施）
開会式	// 10 月 8 日
展示会会期	// 10 月 8 日～11 月 7 日（31 日間）

※ スケジュールは都合により変更となる場合があります。

11. 審査員（計 10 名／男性 5 名・女性 5 名／国内在住 5 名・海外在住 5 名）

[陶芸部門]

男性 3 名・女性 2 名／国内在住 2 名・海外在住 3 名

※①は審査員長

	写真	審査員名	肩 書	専門分野	性別	在住国
①		石崎 泰之	岐阜県現代陶芸美術館 館長	陶磁史 陶芸論	男性	日本
2		井上 雅之	陶芸家 多摩美術大学名誉教授	現代陶芸	男性	日本
3		モニカ・ビンチク Monika Bincsik	メトロポリタン美術館アジア美術部 日本工芸ダイアン・アンド・アーサー・アビー・キュレーター	日本の装飾 芸術と織物	女性	アメリカ
4		イケムラ レイコ	現代美術家(画家・彫刻家)	現代美術	女性	ドイツ
5		オリオール・カル ボ・ベルジェス Oriol Calvo Vergés	キュレーター IAC(国際陶芸学会) 会長 (アルヘントナ陶芸博物館(スペイン、バルセロナ)館長)	陶磁器 工芸	男性	スペイン

[陶磁器デザイン部門]

男性 2 名・女性 3 名／国内在住 3 名・海外在住 2 名

※①は審査員長

	写真	審査員名	肩 書	専門分野	性別	在住国
①		桐山 登士樹	デザインディレクター 富山県美術館副館長 富山県総合デザインセンター所長	デザインディ レクター	男性	日本
2		正村 美里	岐阜県美術館 副館長兼学芸部長	近現代の工 芸、現代美術	女性	日本
3		坂井 基樹	編集者 (公益財団法人日本陶磁協会事務局長、陶説編集長)	工芸やデザイン、 素材に関する本・図録 等作成	男性	日本
4		チョ・ヘヨン Hyeyoung Cho	韓国アート・アンド・デザイン協会会長 IAC 会員 フリーのキュレーター	スタジオアーテ ィスト、キュレー ター、アートディ レクター	女性	韓国
5		シュテー・エリカ Sütő Erika [family name first]	陶磁器デザイナー、ジュエリーデ ザイナー、ケチケメート国際陶芸 スタジオ 代表(ディレクター)	陶磁器・ジュ エリーデザイン ナー	女性	ハンガリー

12. 審査員報酬

審査員報酬は、審査委員長 70 万円、審査員 40 万円（いずれも税込み）とする。

※交通費、宿泊費等は実行委員会が別途負担

13. 「第 1 4 回国際陶磁器展美濃」会場設営

「第 1 4 回国際陶磁器展美濃」の会場設営に関する詳細は、別途コンペ作業部会において協議のうえ決定するものとする。

14. 応援スタッフ動員計画

最終審査会においては審査員のアテンドや作品の移動作業等の、国際陶磁器展美濃展示会においては監視業務等の、人手を必要とする業務が多々あるため、別途コンペ作業部会において、応援スタッフ動員計画を策定し、関係機関に応援を依頼するものとする。

15. その他

その他、第 1 4 回国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティションに関し、この事業計画書又は募集要項に記載のない事項や、疑義が生じた事項は、コンペ作業部会において協議のうえ決定するものとする。

第 1 4 回 国際陶磁器展美濃 募集要項（案）

《第 1 4 回 国際陶磁器展美濃・国際陶磁器コンペティション 作品募集》

1. 基本理念

10,000 年を越える陶磁器の偉大なる系譜に想う。私たちは今、陶磁器の精神と存在を再度、その歴史に学ばなければならないのではないか。かつて無造作に産みだされたもののなかから、美を発見し、精神を与え、名器は生まれた。無技巧な碗ひとつにも、非凡を認め、色を感じ、感触を味わい、奇異でもなく主張することもない形に宇宙を観たこともある。生活者の欲求と様式に合致し、新しい提案を示すものは、時代を超え輝き続ける生命力をもつ。

21 世紀を迎えた今、大量生産、大量消費、新素材、新技術といった時代の荒波は、陶磁器の精神と存在をどの方向に導こうとしているのだろう。技術至上の前に、創造力は失われていないか。生活者を優しく見つめる温かい人間愛を否定していないか。光輝あふれる陶磁器の偉大なる未来に誓う「国際陶磁器展美濃」は、高度な技術に裏づけられた創造力と限りない人間愛につつまれた未来への提案の場であり続けることを。

2. ご挨拶

“国際陶磁器展美濃”は、陶磁器のデザイン・文化の国際的な交流を通じて、陶磁器産業の発展と文化の高揚に寄与することを目的に開催する“国際陶磁器フェスティバル美濃”のメイン催事で、1986 年に第 1 回を開催して以来、今回で第 14 回を迎える国際陶磁器コンペティションです。

本コンペティションは、毎回、世界の著名な審査員によって審査を行っており、様々な国から応募があります。前回は世界 77 の国と地域から 2,128 名、3,890 点にのぼる応募をいただきました。その規模と質の高さは、正に、現代の世界を代表するコンペティションであります。

このコンペティションにおいて選ばれた約 200 点の優れた作品は、2027 年の 10 月から 11 月にかけて、岐阜県多治見市内のセラミックパーク MINO で展示することとしており、国内はもとより海外からも多くのお客様をお迎えしたいと考えております。

近年、陶磁器の分野にも、新素材、新技術、領域のボーダーレス化などによる新たな発展が求められており、従来にも増した斬新な提案、作品の応募を期待いたします。

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

はじめに

このコンペティションに応募することにより、応募者は本募集要項に記載の各項目に同意していただいたものとして取り扱いますので、よくお読みいただきご応募下さい。

本募集要項に記載されている内容は、やむを得ない場合により変更となることがあります。その場合は、主催者のホームページにおいて告知します。(https://www.icfmino.com)

《募集内容》

1 テーマ

「やきものの可能性」

既成の概念にとらわれず、自由な発想でやきものがもつ可能性を切り拓く作品を求めます。

2 全体スケジュール

項 目	時 期
応募受付期間	2026年2月2日～2027年1月29日
1次審査：画像審査（入選候補作品の絞り込み）	2027年2月
2次審査：画像審査（入選作品の決定）	2027年4月上旬
2次審査結果の通知	2027年4月中旬～下旬
最終審査：現物審査（グランプリ以下各賞の決定）	2027年8月上旬（詳細は《作品の搬入・返却》参照）
表彰式	2027年10月7日又は8日
開会式	2027年10月8日
第14回 国際陶磁器展美濃	2027年10月8日～11月7日

3 募集部門

（1）陶芸部門

自由な発想と手法による陶芸作品

（2）陶磁器デザイン部門

A ファクトリー分野（実用機能を有するファクトリープロダクト）

企業等での応募（その企業等に属する個人・グループでも可）

B スタジオ分野（実用機能を有するスタジオ（個人）プロダクト）

個人・グループでの応募

4 応募作品の条件

- ① 「やきもの」（土や石の粉末を焼成して作った物）を中心とした自作の作品であること。
- ② 前回のコンペティション応募受付終了後（2024年1月31日以降）に制作した作品であること。
- ③ 他の公募展に入賞・入選していない作品であること。
- ④ 運搬及び室内での展示に支障のない大きさ・重量・形状の作品であること。
（床面積4㎡、高さ4m、重量100kg（組作品は1パーツあたり）までを目安とします。）

5 応募資格

応募資格は特に設けません。どなたでも応募できます。

6 応募点数

各部門3作品まで応募できます。

（同一の作品を複数の部門に応募することはできません。）

7 応募登録料

応募に際しての登録料は不要です。

8 応募受付期間

2026年2月2日(月)～2027年1月29日(金)

※ 日本時間2027年1月29日(金)午後5時以後の受付はできませんので、時差を考慮に入れて、余裕を持って応募登録を完了して下さい。

9 公用語

このコンペティションの公用語は、日本語または英語とします。

10 審査

このコンペティションの審査は、次の3段階で行います。

審査において応募者情報は非開示とします。ただし、「12 賞」記載の〈坂崎重雄セラミックス賞〉の選定に際しては、必要な年齢情報のみ開示します。

審査段階	審査方法	審査内容
1次審査	画像審査	作品画像を審査し、入選候補作品を絞り込む
2次審査	画像審査	1次審査通過作品の画像を審査し、入選作品を絞り込む
・2次審査を通過した作品を入選とします。 最終審査に向け受入期間内に作品を搬入していただきます。		
最終審査	現物審査	入選作品の現物を審査し、グランプリ以下各賞を決定する

※ 作品が以下の【選外事例】のいずれかに該当する場合は選外となることがあります。

【選外事例】

- ① 作品が受入期間内に搬入されない場合
- ② 搬入された作品が開梱の際破損していた場合
- ③ 搬入された作品が登録作品画像と異なる場
- ④ 搬入された作品が展示に適さないと主催者側が判断した場合

11 審査結果の確認方法

1次審査の審査結果は、2027年2月末頃、2次審査の審査結果は2027年4月中旬から下旬頃に発表する予定です。応募登録ページにアクセスし、「マイページ」で確認してください。また、2次審査通過者には、別途審査結果等を通知します。(《作品の搬入・返却》中、「2 作品の搬入」参照。)公表時期になりましたら公表日時をホームページ上でお知らせします。なお、電話等での問い合わせには応じられません。

12 賞

このコンペティションの各賞は、以下のとおりです。

賞	賞金	陶芸部門	陶磁器デザイン部門	
			ファクトリー分野	スタジオ分野
グランプリ	5 0 0 万円	1 作品		
金賞	2 0 0 万円	1 作品		
銀賞	1 0 0 万円	1 作品	1 作品	1 作品
銅賞	5 0 万円	2 作品	1 作品	1 作品
審査員特別賞	1 0 万円	5 作品	5 作品	
入選	—	上記を除く 1 6 0 ～ 1 8 0 作品程度		

- ※ グランプリ受賞者は表彰式に招待します。(往復の交通費及び宿泊費は主催者が負担)
- ※ 賞金には税金がかかる場合があります。
- ※ 各入賞・入選作品に対し、本展作品集(以下「図録」という。)を1冊進呈します。

〈坂崎重雄セラミックス賞〉

このコンペティションでは上記の賞とは別に、若手作家の逸材の輩出を目的に「坂崎重雄セラミックス賞」を2011年第9回から設置しています。

- ① 対象：応募締切時点で40歳以下の応募者(個人)
- ② 賞金：各50万円(陶芸部門1作品、陶磁器デザイン部門1作品)

※ この賞金は、多治見陶磁器卸商業協同組合が設置する「坂崎重雄陶磁器産業後継者育成基金」から負担していただいております。

■坂崎重雄(1922～2015)

1986年第1回の開催にあたり、この美濃焼の産地において行われる国際陶磁器コンペティションのPRのため、美濃陶芸協会の方々と世界各国を奔走し、開催実現に導いた功労者

1.3 グランプリ及び金賞作品の寄贈について

グランプリ及び金賞作品は岐阜県現代陶芸美術館への寄贈となりますのでご承知おき下さい。
歴代グランプリ・金賞作品と共に同美術館の収蔵作品として大切に保管し、国際陶磁器展美濃を回顧する展示企画などにおいて展示します。

1.4 受賞作品の展示・公開

入賞・入選作品は、2027年開催予定の「第14回 国際陶磁器展美濃」にて展示します。
また、図録や主催者のホームページへの掲載により公開します。

1.5 諸権利

応募作品に係る著作権及び工業所有権等に関する権利は、応募者にあります。したがって、応募の際は、必要に応じて応募者において意匠登録等の手続きをして下さい。

なお、主催者には、入賞・入選作品の展示及び図録の出版に関する権利、その他主催者が発行・許可する印刷物・ホームページ等への掲載に関する権利があることをご了承下さい。

《応募登録》

1 応募方法

以下の(1)～(3)の手順に従って応募して下さい。郵送による応募はできません。

(1) 応募登録ページへのアクセス

国際陶磁器フェスティバル美濃公式ホームページから応募登録ページにアクセスして下さい。

アドレス: <https://www.icfmino.com> QRコード:



(2) 応募者情報の登録

- ① メールアドレスを登録して下さい。(折返し主催者からメールを送信します。)
- ② 届いたメールに記載された URL から応募者情報登録ページにアクセスして下さい。
- ③ 「個人・グループ応募」か「企業応募」を選択して下さい。
- ④ 氏名(会社名)以下、登録フォームに従い必要事項を入力して下さい。
- ⑤ 次の規定に基づいて、応募者の画像データを添付して下さい。

	画像データ	形式	容量上限
個人・グループ応募の場合	顔写真	J P E G	4 M B
企業応募の場合	会社のロゴマーク	P D F	4 M B

※入賞・入選者の顔写真又は会社のロゴマークは、図録作成時に使用します。

(3) 応募作品の登録

- ① 応募者情報の登録が完了するとマイページメニューに進みます。
- ② 応募する部門を選択して下さい。
- ③ 作品名、作品サイズ、制作意図等、登録フォームに従い必要事項を入力して下さい。

※英語欄がある項目は、英語も入力してください。

入力がない場合は主催者による自動翻訳機での翻訳となります。

※ 制作意図は400文字以内で入力して下さい。

- ④ 次の規定に基づいて、作品画像データを添付して下さい。

形式	J P E G形式に限る
容量上限	4 M B
数量	正面の画像1枚、角度を変えた画像2枚の合計3枚
その他	組作品は必ず全体を1枚の画像に収めること

※ 規定と異なる画像データは、応募を受け付けることができません。

- ⑤ 複数の作品を応募する場合は上記②～④の手順を繰り返して下さい。各部門3作品まで応募できます。

2 その他の注意点

- ① 登録フォームに入力する言語は、日本語又は英語に限ります。それ以外の言語で入力されている場合は応募を受け付けることができません。
- ② 応募受付は日本時間2027年1月29日(金)午後5時までの受信分をもって締め切り、それ以降は、受信機能を停止します。理由の如何にかかわらず、締め切り後は、応募を受け付けることができませんので、余裕をもって応募登録して下さい。

2 次審査通過者のみ対象

《作品の搬入・返却》

1 2 次審査通過後のスケジュール

項目	時期
2 次審査通過者への必要書類の送付	2 0 2 7 年 4 月 中 旬 ～ 下 旬
作品搬入(海外)	2 0 2 7 年 7 月 8 日 ～ 1 2 日
作品搬入(国内)	2 0 2 7 年 7 月 2 2 日 ～ 2 8 日
作品搬入(自己搬入)	2 0 2 7 年 7 月 2 7 日 ・ 2 8 日
最終審査(作品現物審査)	2 0 2 7 年 8 月 1 日 ・ 2 日
最終審査結果の通知	2 0 2 7 年 8 月 上 旬
作品返却(自己搬出・応募者手配の輸送会社)	2 0 2 7 年 1 1 月 7 日 閉 会 後 ・ 8 日
作品返却(主催者手配の輸送会社)	第 1 4 回 国 際 陶 磁 器 展 美 濃 終 了 後、6 ヶ 月 以 内

2 作品の搬入

2 次審査通過者には、2 0 2 7 年 4 月 中 旬 ～ 下 旬 に 下 表 No. 1 ～No. 6 の 書 類 を メール で 送 付 し ます。また、No. 2 ～No. 6 の 書 類 は マ イ ペ ー ジ 上 で も 表 示 し ます。

2 次審査通過者は、No. 6 「注意事項書」をよくお読みいただき下記【A】又は【B】により作品を搬入して下さい。

※ 作品の展示において、壁・照明・装飾品などの個別の器具・備品等が必要な場合は、応募者自身で用意し搬入して下さい。

No	種類	備考
1	審査結果	2 次審査を通過した旨を文書にてお知らせします
2	作品ラベル	作品の所定の箇所に必ず貼付して下さい（注意事項書参照）
3	梱包ラベル	梱包箱の所定の箇所に必ず貼付して下さい（注意事項書参照）
4	クレジットラベル	（海外の方のみ）作品に同梱してください
5	作品搬入通知文書	作品の搬入についての案内
6	注意事項書	作品の搬入に関する注意事項

【A】国内から搬入する方

輸送と自己搬入の2通りの方法があります。以下の要領に従って搬入して下さい。

(1) 費用負担

作品の搬入に係る輸送費・保険料等全ての費用は応募者の負担となります。

保険については「5 保険」を参照して下さい。

(2) 作品受入期間

輸送の場合 : 2 0 2 7 年 7 月 2 2 日 ～ 7 月 2 8 日

自己搬入の場合 : 2 0 2 7 年 7 月 2 7 日 ～ 7 月 2 8 日

この期間に作品が到着せず《募集内容》中、「1 0 審査」に記載されている【選外事例】に該当となっても、主催者は責任を負いません。

(3) 輸送先及び自己搬入先

前記の書類 No. 5 「作品搬入通知文書」にてお知らせします。

【B】海外から搬入する方

輸送でのみ受け付けます。以下の要領に従って搬入してください。

(1) 費用負担

作品の搬入に係る輸送費・税金・保険料等全ての費用は応募者の負担となります。

ただし、日本での輸入関税・消費税については、主催者が負担します。

保険については、「5 保険」を参照して下さい。

(2) 作品受入期間

2027年7月8日～12日

この期間に作品が到着せず《募集内容》中、「10 審査」に記載されている【選外事例】に該当となっても、主催者は責任を負いません。

(3) 輸送先

前記の書類 No. 5 「作品搬入通知文書」にてお知らせします。

3 作品の返却

返却希望作品は、①主催者手配の輸送会社による返却、あるいは②自己搬出又は応募者手配の輸送会社による返却のいずれかの方法で返却します。

(1) 返却方法

① 主催者手配の輸送会社による返却

返却は、輸送費前払いとなります。支払の確認ができ次第、作品の返却作業を行います。

② 自己搬出又は応募者手配の輸送業者による返却

作品搬出期間：2027年11月7日（閉会後～20：00）

及び11月8日（10：00～17：00）

※ 主催者は、応募者手配の輸送業者に係る事務は行いません。各自で手続きして下さい。

(2) 費用負担

作品の返却に係る輸送費・税金・保険料等全ての費用は応募者の負担となります。

保険については「5 保険」を参照して下さい。

(3) その他

《募集内容》中、「10 審査」に記載されている【選外事例】に該当し選外となった場合は、別途返却方法について協議します。

4 返却を希望しない作品の取扱い

(1) 次の場合は、「返却を希望しない作品」とみなします。

① 登録フォームの搬出方法において「返却不要」が選択されている場合

② 支払期限までに作品返却に係る輸送費が支払われない場合

③ 返却希望しながら一定期間（1か月程度）応募者と連絡が通じず、作品の返却ができない場合

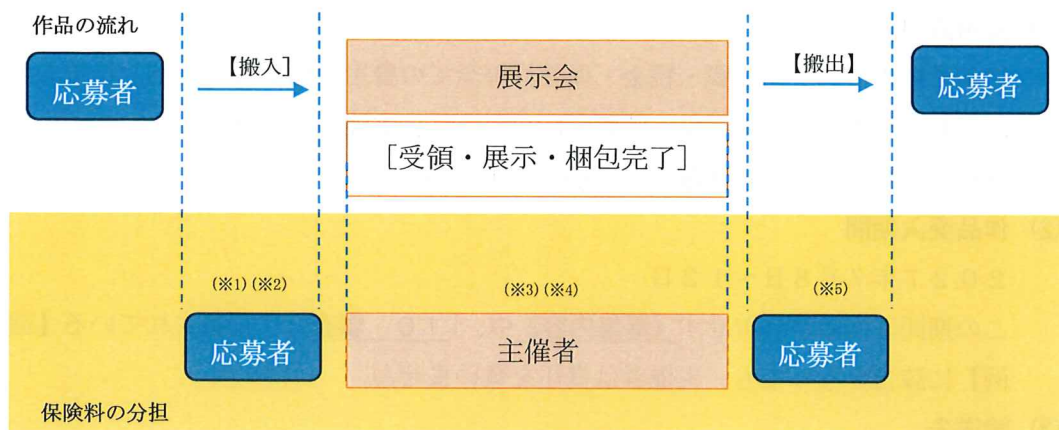
(2) 返却を希望しない作品については、所有権を放棄したとみなし次のとおり取り扱いますので、予めご了承下さい。

① 主催者において処分します。

② 寄贈・譲渡等の仲介は行いません。

5 保険

作品の破損等に関する保険の取扱いは以下のとおりとします。



※1 主催者が作品を受領するまでの保険料は応募者の負担となります。

必要に応じて応募者で保険をかけて下さい。

※2 作品の破損等の状態によっては、《募集内容》中、「10 審査」に記載されている【選外事例】に該当する場合がありますので、作品の梱包には十分注意して下さい。

※3 作品受領後、展示会開催期間中ならびに展示会終了から梱包完了までの保険料は主催者が負担します。ただし、保険金の額は1作品につき上限30万円とします。

したがって、海外から輸送する際にインボイスに記入する作品評価額は30万円以下として下さい。

※4 作品受領後、主催者はその管理に万全の注意を払いますが、天災その他の不可抗力による破損等については責任を負うことができません。

※5 梱包完了後から応募者が作品を受領するまでの保険料は応募者の負担となります。必要に応じて応募者で保険をかけて下さい。

お問い合わせ

お問い合わせはE-Mail でお願ひします。

日本語又は英語に限ります。

国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会事務局

〒507-0801

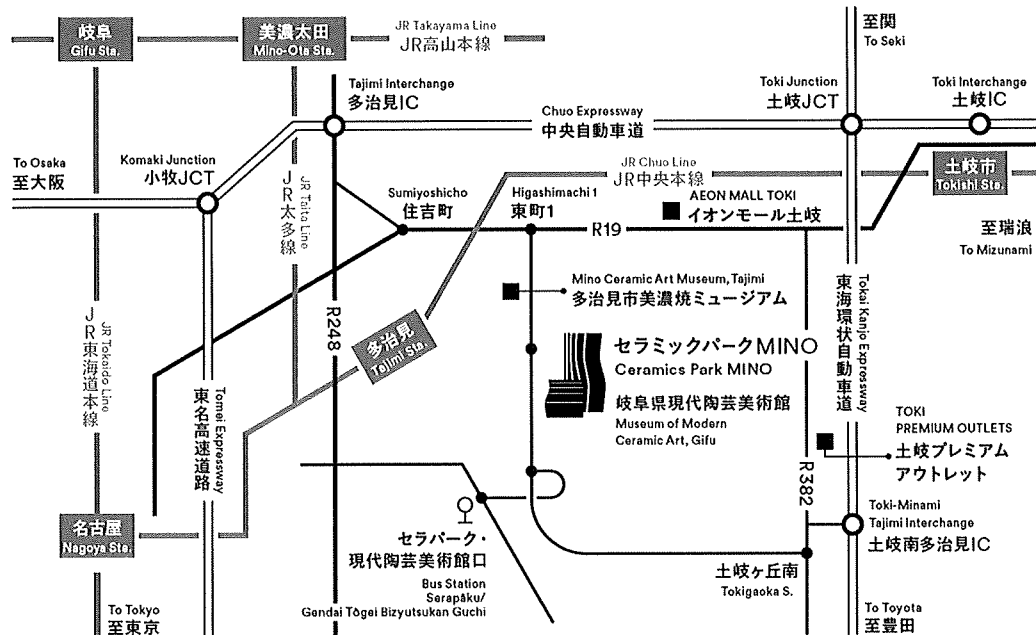
岐阜県多治見市東町4-2-5 セラミックパークMINO内

E-Mail : info@icfmino.com

[国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会事務局]

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5 セラミックパークMINO内（下記地図）

TEL:0572-25-4111 E-Mail: info@icfmino.com



※本要項に記載されている内容は、やむを得ない事情により変更となることがあります。その場合は、主催者のホームページにおいて告知します。

